

論文タイトル： Protein Intakes and Serum Albumin Levels in a Japanese General Population: NIPPON DATA 90.

論文著者： Watanabe M, 他

論文掲載誌： Journal of Epidemiology. 20(Supple 3): S531-S536.

---

平成2年（1990年）「循環器疾患基礎調査」と「国民栄養調査」に参加した全国の30歳以上の男女約8千人の食事摂取量と血清アルブミン値を調査したNIPPON DATA90のデータを用いて、たんぱく質摂取量と血清アルブミン値との関連を調べた研究です。

この研究では、「循環器疾患基礎調査」と「国民健康・栄養調査」に参加した8,926名のうち、血液検査および食事記録を実施していない方を除いた7,715名を対象としています。血清アルブミン値(g/L)の少ない順に、対象者を3グループに分類し、各グループの総たんぱく質摂取量、動物性たんぱく質摂取量、植物性たんぱく質摂取量の平均値を食事記録から算出して比較しました。BMIや年齢の影響を調整し、たんぱく質摂取量と血清アルブミン値との関連を検討しました。

その結果、男女ともに、血清アルブミン値が高い群では、動物性たんぱく質の摂取量平均値が(g/日)が有意に高いことがわかりました。一方、植物性たんぱく質摂取量(g/日)では、この傾向は認められませんでした。

これらの結果より、動物性たんぱく質の摂取が、血清アルブミン濃度と関連している可能性が示唆されました。